

「常願寺川砂防施設保存活用計画検討委員会」を開催



立山砂防事務所管内には平成21年6月に砂防施設としては日本で初めて重要文化財に指定された白岩砂防堰堤と、平成29年11月に重要文化財に指定された本宮砂防堰堤と泥谷砂防堰堤群、合わせて3つの重要文化財砂防施設があります。

常願寺川流域では豪雨のたびに土砂流出等が発生することから、これらの砂防施設（重要文化財としての名称は「常願寺川砂防施設」）の損傷・劣化の進行も危惧されます。

立山砂防事務所では「常願寺川砂防施設」の本来の防災機能の維持と文化財としての価値の保全の両立に向けた維持管理の取り組みの一つとして、「保存活用計画(案)」を策定するため、砂防、土木史、文化財行政に関わる学識経験者、有識者、行政関係者の方々から助言・御意見を頂くための委員会を設置しました。

今年度は令和2年8月28日に第1回常願寺川砂防施設保存活用計画検討委員会を開催致しました。今後も継続的に委員会を開催し、「保存活用計画(案)」の策定を目指します。

○開催日時：令和2年8月28日(金) 9:30～12:00 ※8月27日(木)に現地合同視察を実施。

○開催場所：富山県民会館

○委員メンバー：10名(50音順、敬称略)

委員長 小山内 信智：政策研究大学院大学 教授

委員 伊東 孝：日本ICOMOS国内委員会「技術遺産小委員会」主査
/産業遺産情報センター 研究主幹

内田 太郎：筑波大学 准教授

金井 健：独立行政法人国立文化財機構 東京文化財研究所
/文化遺産国際協力センター 保存計画研究室長

清水 真一：文化審議会 文化財分科会第二専門調査会 委員
/徳島文理大学 文学部 文化財学科 教授

新井田 浩：国土交通省 北陸地方整備局 河川部長

野村 康裕：富山県 土木部 砂防課長

吉田 学：富山県 教育委員会 生涯学習・文化財室長

野呂 智之：国土交通省 北陸地方整備局 立山砂防事務所長

オブザーバー：北河 大次郎 文化庁 文化資源活用課 文化財調査官(近現代建造物部門)

○委員会参加者：21名(委員・職員事務局メンバー等)



委員長 小山内 信智
(政策研究大学院大学 教授)



野呂 委員
(立山砂防事務所長)



現地合同視察の様子(8月27日実施)



委員会の様子(8月28日開催)